学校番号	111

令和２年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高等学校　改訂　地学基礎」　（第一学習社）						
副教材等	「ネオパルノート地学基礎」　（第一学習者）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１　日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味をもち，その法則性について考える態度をもつこと。
２　疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもつこと。
３　学んだことを正確に記録する方法と態度を身につけること。

２　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，地学的に探究する能力と態度を育てるとともに，地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ，科学的な見方や考え方を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら、地学的な事物・現象に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究するとともに，科学的態度を身に付けている。	地学的な事物・現象の中に問題を見出し，観察，実験などを行うとともに，事象を実証的，論理的に考えたり，分析的・総合的に考察したりして，問題を解決し，事実にもとづいて科学的に判断したことを、言語活動を通じて表現する。	地学的な事物・現象に関する観察，実験の技能を習得するとともに，それらを科学的に探究する方法を身に付け，観察，実験の過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	観察，実験などを通して地球や地球を取り巻く環境について、事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。
評価方法	・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・実習レポート ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・実習レポート ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・実習レポート ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・実習レポート ・小テスト ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期中間	宇宙における地球	宇宙の構成 1.宇宙の始まり 2.宇宙の広がりと銀河の分布 太陽 1.太陽の構造 2.太陽の組成 3.太陽の将来 太陽系の中の地球 1.太陽系の構造 2.太陽系の誕生	○ ○	○ ○	○	○ ○	a:宇宙の始まりや銀河・太陽系の天体に関心をもち意欲的に学習しようとしている。 b:ビッグバンから宇宙の晴れ上がりまでのｽﾄｰﾘｰを説明できる。太陽系の惑星の元素組成を比較検討することによって、地球と金星が似ていることを考察できる。 c:スペクトル中の輝線や吸収線から存在する元素を判別することができる。 d:太陽の各部位の構造や働きを理解し、知識を身につけている。太陽系の形成過程について理解し、知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・小ﾃｽﾄ ・定期考査 ・実験ﾚﾎﾟｰﾄ

一学期期末	活動する地球	3.地球型惑星 4.木星型惑星 5.惑星･衛星以外の天体 地球の姿 1.地球の形と大きさの測定 2.地球の形と大きさ 3.地球の内部構造 4.地球の構成物質 5.プレートの運動 6.プレートの収束と造山運動	○ ○ ○ 	 ○ ○ 	 ○ 	 ○ ○ ○	a:地球内部の層構造やその構成物質の違い、プレートテクトニクスや造山帯に関心をもち、地球の内部構造を意欲的に探求しようとしている。 b:地球構成元素を示すグラフを判別し、地球内部の構成物質の違いについて考察することができる。太陽系の形成時の位置や質量などの違いによって、地球型惑星と木星型惑星の構造の違いを考察できる。 c:ｴﾗﾄｽﾃﾈｽの測定により計算で地球の大きさを求めることができる。岩石と鉄の密度を調べることを通して各層の密度の違いを比較できる。 d:地球の層構造、構成成分の違い、海洋地殻と大陸地殻、プルームテクトニクス、プレートテクトニクスなどを理解し、知識を身につけている。	･授業態度 ･発問評価 ･ノート提出 ･小ﾃｽﾄ ･定期考査 ･実験ﾚﾎﾟｰﾄ
二学期中間	移り変わる地球	火山活動と地震 1.火山の分布 2.火山の地形 3.火山噴火と火成岩 4.地震が発生するしくみ 5.地震の動き 6.地震の発生する地域 地層や岩石と地質構造 1.地層の形成 2.地層と堆積構造	 ○ ○ ○ 	 ○ ○	 ○ ○ 	 ○ 	a:火山の分布、マグマの発生、噴火様式、火成岩の産状、火成岩の分類などに関心をもち、意欲的に学習しようとしている。 b:マグマの性質と噴火の様式の表からその関連を考察できる。 c:火成岩の組成と造岩鉱物の量をもとにして、岩石名を判断できる。 d: 火山の分布、マグマの発生、噴火様式、火成岩の産状、火成岩の分類などを理解し、知識を身につけている。	･授業態度 ･発問評価 ･ノート提出 ･小ﾃｽﾄ ･定期考査 ･実験ﾚﾎﾟｰﾄ

二学期期末		3.堆積岩 4.地殻の変動 5.変成岩 地球環境と生物界の変遷 1.化石 2.地質時代とその区分 3.先ｶﾝﾌﾞﾘｱ時代 4.古生代 5.中生代 6.新生代	 ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○			a：地層や堆積岩の形成に関心をもち、堆積環境を調べる方法を習得しようとしている。化石のでき方、示相化石・示準化石、かぎ層による地層の対比について関心をもつ。 b：断層や褶曲、不整合などから、過去の地殻変動の歴史を推定できる。かぎ層に注目して地層の歴史を考察できる。 c：露頭の写真から不整合面を確認できる。化石のできたときの環境、化石の種類を調べることができる。 d：堆積岩の種類、断層の形式、褶曲、整合と不整合などを理解し、知識を身につけている。化石のでき方、示相化石、示準化石、地質時代の区分について理解し、知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・小ﾃｽﾄ ・定期考査 ・実験ﾚﾎﾟｰﾄ

三学期	大気と海洋	地球の熱収支 1.大気の構成 2.大気圏の特徴 3.対流圏における水の変化 4.太陽放射と地球放射 5.地球のｴﾈﾙｷﾞｰ平衡 大気と海洋の運動 1.緯度によるｴﾈﾙｷﾞｰ収支 2.風 3.大気の大循環 4.海洋の構造 5.海洋の大循環 6.大気と海洋の密接な関係	 ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○	 ○ 	 ○ ○ ○ 	a:大気の組成･圧力、大気圏の構造やオゾン層、ｴﾈﾙｷﾞｰ放射や熱収支について意欲的に学習しようとする。 緯度によるエネルギー収支や大気や海水の循環に関心をもっている。 b:大気圏の構造を示すグラフを判読し、気温の変化との関係を考察できる。太陽放射と地球放射の波長とｴﾈﾙｷﾞｰのグラフから違いを確認できる。 c:飽和水蒸気圧と温度との関係を示すグラフから、相対湿度を計算で求めることができる。地球の温暖化の原因や影響をグラフから読み取ることができる。 d: 大気の組成･圧力、大気圏の構造やオゾン層、ｴﾈﾙｷﾞｰ放射や熱収支について理解し、知識を身につけている。熱の南北輸送を理解し、知識を身につけている。	･授業態度 ･発問評価 ･ノート提出 ･小ﾃｽﾄ ･定期考査 ･実験ﾚﾎﾟｰﾄ

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。